

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	聖隷かがやき 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 26日		～ 2024年 12月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	2025年 11月 26日		～ 2025年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 30日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所、子ども園との並行通園児の情報共有 ・ 地域の保育士の見学受け入れ ・ 関係機関への公開療育案内 ・ クラス便り、園だより配布 ・ 地域の保育所との交流(4回実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各保育所等との定期的な情報共有により、支援の方向性を確認する(WEB等開催検討) ・ 保健師、相談支援とのこまめな情報共有(就学支援の方向性など)
2	子ども一人一人に寄り添った丁寧な支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月1回の親子通園(子どもとの遊び、食事時間の共有)での親子関係の構築 ・ 丁寧な個別対応 ・ 面談による子育て相談 ・ 保護者会での家族交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族背景を含め、対応困難なケースは行政、地域の関係者とのケース会議を行い、地域で支えていけるように連携する
3	地域の子育ての親子支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月～2月の月1回地域向けの親子教室を開催 ・ 子育て相談の受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ HPでの親子教室の案内を行う

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療系の身体に関する専門的な児童のフォローが難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者からの細やかな聞き取りで把握している点と保護者だけが抱えないように専門職との連携の構築を検討していく
2			
3			

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	聖隷かがやき 児童発達支援		公表日	2026年 1月 30日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	▲ ▼ 10	▲ ▼ 1	・活動内容での人数、子どもの特性を考慮してグループ分けなど工夫しています。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	▲ ▼ 10	▲ ▼ 1	・職員同士の連携で子どもの状態や急な状況には対応できるように工夫している。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0	・必要に応じた個別対応ができるように工夫している。		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0	・日々振り返りを行い、記録に記載して、週1回ミーティングで情報は共有している		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0	・結果については共有している。また、保護者の意向を受け止め、支援の質向上に向けて取り組んでいる。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0	・ミーティング、委員会、職員会などで職員の意見の場を設けている。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0	・年1回の評価結果を基に第三者の意見を参考にしている		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0	・新人研修、中堅研修など法人内研修は必須。また、自立支援協議会の参加、児発管研修、必要とする研修には積極的に参加している		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0	HPIに公表している		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0			

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	▲ ▼	▲ ▼	11	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	▲ ▼	▲ ▼	11	0	・前日に準備を行い、当日には確認を実施。急な休みなど連絡漏れがないようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	▲ ▼	▲ ▼	11	0	・支援内容の振り返りを行い、「どんな場面で、どんなことが起こったか、なぜそうなったのか」話し合いは実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	▲ ▼	▲ ▼	11	0	・支援の検証・改善については、職員の色々な意見も取り入れるように工夫している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	▲ ▼	▲ ▼	11	0		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	▲ ▼	▲ ▼	11	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	▲ ▼	▲ ▼	11	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	▲ ▼	▲ ▼	11	0	・公開療育を実施している中で、支援活動内容の理解、子どもへの関わり方など並行通園している地域の保育士との情報共有の場としている。	・保育所・子ども園との連携は行っているが、日程や時間調整の難しさから今後ICTを使った会議等も検討していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	▲ ▼	▲ ▼	11	0	・移行支援シートの作成で保護者から学校への提供を実施している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	▲ ▼	▲ ▼	11	0	・同法人とのセンターでの連携を図り、支援等の研修などWEBや集合研修で支援の質向上に努めている。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	▲ ▼	▲ ▼	11	0	・福祉全般における支援の質向上のための外部研修への参加を行っている	
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	▲ ▼	▲ ▼	11	0	・自立支援協議会の子ども部会など積極的に参加して地域課題や現状などを把握し、今後に向けての方向性など共有している。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	▲ ▼	▲ ▼	11	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	▲ ▼	▲ ▼	11	0		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	▲ ▼	▲ ▼	11	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	▲ ▼	▲ ▼	11	0		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	▲ ▼	▲ ▼	11	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	▲ ▼	▲ ▼	11	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	▲ ▼	▲ ▼	11	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	▲ ▼	▲ ▼	11	0	・随時相談に対応している	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0	・保護者会主催の行事があることで、保護者同士の横のつながりが生まれ、家族が孤立しないように努めている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0		・HP内容の更新など定期的に行われるように工夫していきます
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0	・ヒヤリハットの内容の周知を徹底し再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	▲ ▼ 11	▲ ▼ 0			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	聖隷かがやき 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 26日		2025年 12月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2025年 11月 26日		2025年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	進級にあたり、学校との情報共有を年度初めに実施、その後も一人一人に合わせて学校の先生やコーディネートの先生と情報共有を実施しています。	・事業所での取り組んでいる支援計画や利用状況を5領域に合わせて記入したアセスメントシートを利用し、学校と情報共有を行いました	生活面の内容がわかりづらいため、宿泊学習で気づく場面などがあつた。体験内容の工夫や、行事内容も含めて検討して参ります
2	職員間の連携の強化に力を入れています。	・月1回の会議、週1回のミーティングと時間を設け、子ども達の様子や利用児の特性に合わせて、月、週のプログラムや子ども達の状況など細かく情報共有しています	支援提供の日々の振り返り、個別対応について話し合い、記録を実施しておりますが、内容のブラッシュアップに努めて参ります。
3	個別の相談対応	・不登校のケース対応として、事業所の子ども達が乗った移送車で元気な顔をお互い見合わせたり、「友達」への気持ちを忘れないように、状況に合わせて行うように取り組んでいます。	子ども達の気持ちの状態や背景の環境など職員間の共有でもっと丁寧な支援に努めて参ります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の学童や事業所との交流の実現が難しい	平日は利用時間の短さから交流ができない。長期休みでは体験を多く取り入れているが、交流に結び付けられる体験も検討したい	子ども達からの声を取り入れて、交流の目的や、内容を充実できるように取り組んでいきたい
2			
3			

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	聖隷かがやき（放課後等デイサービス）				公表日	2026 年 1 月 30 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	▲ ▼ 6	▲ ▼ 0	・必要に応じて部屋を広げて対応している。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	▲ ▼ 6	▲ ▼ 0	・利用児の人数に応じて、職員配置を行っている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	▲ ▼ 6	▲ ▼ 0				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	▲ ▼ 6	▲ ▼ 0	・活動に応じて、部屋内の環境調整を行っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	▲ ▼ 6	▲ ▼ 0	・子どもたちの様子に合わせて別室対応を行っている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	▲ ▼ 6	▲ ▼ 0	・朝礼時昨日の振り返りを行い、改善に努めている。	ミーティングの回数を多く持ち、細やかに内容の確認を行い、実施後は反省から次に改善できるように取り組んでいます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	▲ ▼ 6	▲ ▼ 0	・意見があった際は、受け止め改善につなげている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	▲ ▼ 6	▲ ▼ 0	・振り返りを通して、意見が上がった時には改善している。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	▲ ▼ 6	▲ ▼ 0				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	▲ ▼ 6	▲ ▼ 0	・月に数回必ず研修の場が設けられている。			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	▲ ▼ 6	▲ ▼ 0	・ミーティングや会議で打ち合わせを決めている。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	▲ ▼ 6	▲ ▼ 0	・アセスメントをしたうえで、職員間で会議を行い作成している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	▲ ▼ 6	▲ ▼ 0	・職員間で目標共有を行っている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	▲ ▼ 5	▲ ▼ 1	・児発管以外の職員もカルテの計画書を見る必要がある。	・保護者の了解を得た内容について必要な情報は職員間で共有しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	▲ ▼ 6	▲ ▼ 0	・定期的なモニタリング、学校との情報共有を行い、情報交換している。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	▲ ▼ 6	▲ ▼ 0				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	▲ ▼ 6	▲ ▼ 0	・ミーティングや会議で立案している。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	▲ ▼ 6	▲ ▼ 0	・振り返りを行いながら、活動が固定化しないように工夫している。	ランスを持ってプログラム作成に努めています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	・必要な支援を活動の中に取り入れている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	・朝礼時、ミーティングとして職員全員で確認している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	・次の日の朝礼で振り返りを行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	・遊びや友達とのやりとりの中で子どもたちが選択できるように支援している。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	・児発管が必ず参加している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	・必要に応じて連携を行っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	・学校との連携はその都度行っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	・新年度前に行っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	▲ ▼	▲ ▼	3	3	・他事業所の放課後等デイサービスへの移行時には、支援情報を提供する機会を設けている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	▲ ▼	▲ ▼	2	4	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	・児発管が参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	・迎えの際に、様子を伝えるようにしている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	・児発管が必ず行っている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	・必要に応じて適宜行っている。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	・親子交流会を年4回企画し、保護者動詞、兄弟同士が参加しやすい支援を行っている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	・お便りを毎月発行している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	▲ ▼	▲ ▼	4	2	・行事の際など、地域の人を招待することもある。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	・毎月避難訓練を実施している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	・朝礼時やミーティングなどで共有を行っている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	▲ ▼	▲ ▼	6	0	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	聖隷かがやき 保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 26日		～ 2025年 12月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	69	(回答者数) 54
○従業者評価実施期間	2025年 11月 26日		～ 2025年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	2025年 11月 26日		～ 2025年 12月 10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育所、学校等との情報交換がより強化される (現場の状況を見ながらタイムリーに話し合える)	・現場の雰囲気や状況を見て、子ども達の自然な姿が見られるように配慮している ・担当の先生との顔の見える関係性から情報共有がしやすいように取り組んでいる	・学校の新学期、年度初めは環境の変化が大きいので、先生達との情報共有から、受け入れられる時期なども話し合っていく ・保護者のニーズを受け止め、また訪問先にも訪問の目的をしっかりと伝え、保護者との懸け橋的な関係性の構築も含めて取り組んでいく
2			
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者のニーズのタイミングと学校等の受け入れられるタイミングが合わない時があります	・移行支援のひとつとしての保育所等訪問の説明不足	・保育所等訪問への周知、理解へ取り組んでいきます
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
聖隷かがやき 保育所等訪問支援事業		2026 年 1 月 30日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	▲ ▼ 17	▲ ▼ 0		
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか	▲ ▼ 16	▲ ▼ 1	・工夫してなるべく2人で行けたらと思う。	
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	▲ ▼ 17	▲ ▼ 0		
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	▲ ▼ 17	▲ ▼ 0	・意見や意向を改善している。	
	5 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	▲ ▼ 17	▲ ▼ 0		
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	▲ ▼ 17	▲ ▼ 0		
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	▲ ▼ 17	▲ ▼ 0	・定期的に研修の場が設けられている。	
適切な 支援の 提供	8 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	▲ ▼ 17	▲ ▼ 0	・アセスメントを行ったうえで、作成してい る。	
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	▲ ▼ 17	▲ ▼ 0		
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	▲ ▼ 17	▲ ▼ 0	・意向を聞き取り反映している。	
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	▲ ▼ 17	▲ ▼ 0		
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	▲ ▼ 17	▲ ▼ 0		
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	▲ ▼ 17	▲ ▼ 0		
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	▲ ▼ 17	▲ ▼ 0		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	▲ ▼ 17	▲ ▼ 0	・打ち合わせを必ず行っている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	▲ ▼ 17	▲ ▼ 0	・次の日の朝礼にて行っている。	
17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	▲ ▼ 17	▲ ▼ 0			
18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	▲ ▼ 17	▲ ▼ 0			
19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	▲ ▼ 17	▲ ▼ 0			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	▲ ▼	▲ ▼	17	0	・児発管や管理者が必ず参加している。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	▲ ▼	▲ ▼	17	0	・連絡を取り共有している。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	▲ ▼	▲ ▼	17	0	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	▲ ▼	▲ ▼	17	0	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	▲ ▼	▲ ▼	17	0	・児発管が参加している。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	▲ ▼	▲ ▼	17	0	・送迎時や迎えの際に、様子を伝え共有している。
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	▲ ▼	▲ ▼	17	0	・定期的に行っている。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	▲ ▼	▲ ▼	17	0	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	▲ ▼	▲ ▼	17	0	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	▲ ▼	▲ ▼	17	0	・モニタリングや家族から相談がある際には必ず行っている。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	▲ ▼	▲ ▼	17	0	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	▲ ▼	▲ ▼	17	0	・迎え時以外にも、相談の場を設けている。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	▲ ▼	▲ ▼	17	0	・交流会を計画し、実施している。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	▲ ▼	▲ ▼	17	0	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	▲ ▼	▲ ▼	17	0	・毎日便りを発行している。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	▲ ▼	▲ ▼	17	0	
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	▲ ▼	▲ ▼	17	0	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	▲ ▼	▲ ▼	17	0	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	▲ ▼	▲ ▼	17	0	・実施後に、訪問先の先生とカンファレンスを行っている。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	▲ ▼	▲ ▼	17	0	・家族へ報告している。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	▲ ▼	▲ ▼	17	0	

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	▲ ▼ 17	▲ ▼ 0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	▲ ▼ 17	▲ ▼ 0	・毎月、避難訓練を実地している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	▲ ▼ 17	▲ ▼ 0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	▲ ▼ 17	▲ ▼ 0	・職員間で、朝礼時やミーティングにて共有している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	▲ ▼ 17	▲ ▼ 0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	▲ ▼ 17	▲ ▼ 0		

事業所名

公表日

2026年1月30日

聖隷かがやき 保育所等訪問支援事業

利用児童数

64人

回収数 9(訪問先回答数)

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	▲ ▼ 8	▲ ▼ 1	▲ ▼ 0	・子どもの様子を実際に見て頂き、気づきや助言を頂くことで、こちらでは気づけなかったことへの対応ができるようになり勉強になります。 ・こちらで取り入れられる内容は取り入れることができました。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	▲ ▼ 7	▲ ▼ 2	▲ ▼ 0	・環境に合った子どもへの配慮を教えていただき、その結果これまでできなかったことが少しずつできるようになり、目に見える変化や成長を感じることができ。 ・保育(集団)の中で、取り入れられる技術などありましたら、教えて頂きたいです。 ・職員への聞き取りから…この件は答えが難しいです。 ・子どもの困り感に対し、どんな手立てをとるか教えて頂きありがたいです。	・訪問支援員の知識や技術を深めるために研修なども行っていききたいと思います。子どもの困り感に対する支援方法も支援先の先生方と情報を共有しながら、対応していききたいと思います。
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	▲ ▼ 8	▲ ▼ 1	▲ ▼ 0	・かがやきさんでのやり方を伺い、こちらでも実践したところ子どもたちがスムーズに行動できる場面が増え、とても勉強になりました。	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	▲ ▼ 8	▲ ▼ 1	▲ ▼ 0	・実際に子どもの様子や保育士の関わりを見て頂き、困りごとや課題への具体的な対応を教えて頂いたり、かがやきさんでも課題として一緒にやり対応してくださりととても助かっています。 ・送迎時に質問等する時に、その場で教えて頂けることもあるが、時々返答をもらえないことがありました。	・課題や困りごとに対して、送迎の時では、充分に対応できないこともありまますので、ゆっくりと時間を確保できる時に返答していけたらと思います。
5 事業所からの支援に満足していますか。	▲ ▼ 7	▲ ▼ 2	▲ ▼ 0	・子どもひとりひとりに合った配慮をしていただき、連携していく中で、子どもたちも集団の中で安心して活動できていると感じます。	
その他のご意見	ご意見を踏まえた対応				

・カンファレンスにて、部屋の死角が多いとのアドバイスを受けすぐに模様替えを検討しました。子どもたちの動きが把握できるようになりました。気になる子の対応の仕方も個別にアドバイスをもらい勉強になりました。

・園での様子を見て頂き、かがやきでの様子を教えていただき、情報共有ができていたという印象でした。課題、困りごと等、質問させてもらえたり、支援の仕方など助言を頂いたり、共有をさせてもらえたらと思います。

・ケガがあった際に保護者への連絡がなかったことがありました。かがやきさんの方からも、連絡を入れていただけると保護者の方へもしっかりと伝わるのかと思いました。

・送迎時に出欠を知ることがありました。事前にわかっている振替日や欠席等があれば教えて頂きたいです。(保護者から園に教えていただくこともあります…)

・普段の連携を中心に、情報交換会や夏休みの施設見学等、充実した取り組みがなされている事に感謝しています。今後子どもたちの事をよろしく願います。

・通っている子どもたちの成長や姿が実感できるのはかがやきさんのおかげだと思います。本校は通っている子どもが多いので、共有会等の日程は早めに計画できるとありがたいです。

・ケース会議や保育所等訪問等、状況に応じて適切に丁寧に対応して下さい、とても助かっています。

・今後子どもたちのことで困り事があればご相談にのって頂くとと思います。その際はよろしくお願ひします

・保育所等訪問では、直接支援だけでなく、教室などの環境に対するアドバイスの間接支援も行っています。すぐに環境を整えるために、模様替えなど対応いただきありがとうございます。

・今後も園での様子やかがやきでの様子を情報共有しながら、子どもさんへのよりよい支援につなげて行けたらと思います。

・ケガがあった際には、すぐに保護者の方へ連絡するように努めています。再度、職員にも周知徹底して対応するようにしていきたいです。(自分の膝で当たったと顔が少し赤くなった例ですが連絡が遅れてしまいました)

・振替日や出欠等に関しては、保護者からの連絡していただくようにしていますので、再度、保護者の方へ連絡協力をお願いしたいと思います。

・送迎時での先生方との連絡や情報交換会、療育見学会などに参加いただき、ありがとうございます。今後子どもたち成長をサポートしていけるように先生方との連携に努めていきたいです。

・情報交換会に参加いただきありがとうございます。今後、日程を早めに計画して、先生方にもご負担のかからないようにしていきたいです。

・ケース会議や保育所等訪問に対応いただきありがとうございます。今後子ども達のよりよい環境を整えるために、先生方と連携を図っていききたいです。